

## 施工状況等報告書

平成 30 年 7 月 31 日

長野県知事 阿部 守一 様

佐久市長 柳田 清二 様  
小諸市長 小泉 俊博 様  
御代田町長 茂木 祐司 様  
軽井沢町長 藤巻 進 様

所在地 長野県佐久市中込 3056 番地佐久市役所内  
名称 佐久市・北佐久郡環境施設組合  
組合長 柳田 清二

長野県環境影響評価条例第 32 条第 1 項の規定により、下記のとおり送付します

### 記

対象事業の名称	新クリーンセンター建設事業
報告対象期間	平成 30 年 4 月 1 日から 平成 30 年 6 月 30 日まで
環境の保全のための措置	詳細は別紙添付資料のとおり
対象事業の実施状況	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】 5 月より杭工事に着手した。 5 月末よりごみピット掘削工事に着手した。 6 月末より工場棟（一部）基礎根切掘削工事に着手した。 【法面保護工事】 敷地法面の植生工事に着手した。

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

# 施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

期間：平成30年4月1日～平成30年6月30日

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植 物	ヤ エ ガ ワ カ ン バ	成 木 の 移 植	4月10日に平成27年4月18日移植個体の状況確認（樹木活力度調査）。 出葉はまだ始まっていない。平成30年2月28日に実施したキノコ除去作業に伴う枝切断により昨年より樹高、枝張りが小さい（樹高：13m→12m、枝張り：6.4m→5.5m）。また、胸高直径も胴巻きの除去により値が小さい（胸高直径：42cm→41cm）。なお、樹勢に大きな減衰は見られない。	写真ヤエー1
			5月16日に平成27年4月18日移植個体の状況確認（樹木活力度調査）。 十分に展葉して葉の密度も多い。キノコ発生部位除去後の枝先端部分の小枝や葉に異常は見られず、新たな枝の伸長も見られる。なお、樹勢に大きな減衰は見られない。	写真ヤエー2
			6月5日に平成27年4月18日移植個体の状況確認（樹木活力度調査）。 十分に展葉して葉の密度も多い。キノコ発生部位除去後の枝先端部分の小枝や葉に異常は見られないが、別の小枝の葉が枯れている。	写真ヤエー3
		種 子 保 存 及 び 播 種	4月10日に播種個体の育苗状況確認。 1) 平成27年4月23日播種個体の育苗状況確認 平成30年3月8日に事業実施区域内に移植（植樹）した幼木3個体は樹高21cm～52.5cm、根元直径4～7mmで、一部に出葉が始まる。ポットで育苗中の2個体は樹高17.5～22cm、根元直径は共に4mmでまだ出葉していない。 2) 平成28年4月18日播種個体の育苗状況確認 ポットの幼木2個体は樹高が共に12cm、根元直径は3～4mmで1個体は出葉が始まる。 3) 播種 移植した成木から平成30年2月26日に採取した種子をプランターへ播種し、床蒔きも行った。	写真ヤエー 4, 5, 6, 7
			5月16日に平成27年4月23日播種個体の育苗状況確認。 平成30年3月8日に事業実施区域内に移植（植樹）した幼木3個体は樹高22.8cm～53.8cm、根元直径4～7mmで出葉した。	写真ヤエー 8, 9, 10
			5月21日に播種個体の育苗状況確認。 1) 平成27年4月23日播種個体の育苗状況確認 No. ①は先端が折れ、枯死した可能性がある。No. ④は樹高23.5cm、根元直径4mmで出葉した。 2) 平成28年4月18日播種個体の育苗状況確認 No. ①は樹高13.5cm、根元直径4mmで出葉。No. ②は出葉が認められず枯死した可能性がある。 3) 平成29年4月21日播種個体の育苗状況確認 プランターからポットへ植え替えを行う。樹高9.0cm、根元直径3mm、出葉して展葉が進む。 4) 平成30年4月10日播種個体の育苗状況確認 プランターからはヤエガワカンバの可能性のある発芽（双葉）を150前後確認。床蒔きからの発芽は確認できない。	写真ヤエー 11, 12, 13, 14, 15
	6月5日に播種個体の育苗状況確認。 1) 平成27年4月23日播種個体の育苗状況確認 平成30年3月8日に事業実施区域内に移植（植樹）した幼木3個体は樹高20.0cm～53.8cm、根元直径4～7mm。個体によっては枝の先端が枯れ、一部の葉が枯れている。ポットで育苗中のNo. ①、②、⑥は枯死。No. ④は樹高24.5cm、根元直径5mmで展葉した。 3) 平成28年4月18日播種個体の育苗状況確認 No. ①は樹高17.5cm、根元直径5mmで展葉。No. ②は枯死。 4) 平成29年4月21日播種個体の育苗状況確認 樹高12.0cm、根元直径4mmで展葉した。 5) 平成30年4月10日播種個体の育苗状況確認 プランターからはヤエガワカンバの可能性のある発芽（双葉）を200以上確認。床蒔きからの発芽は確認できない。		写真ヤエー 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22	

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植 物	オニヒョウタンボク	成木の移植	5月16日に平成27年4月20日移植個体の状況確認（樹木活力度調査）。 全ての個体で順調に展葉し、結実している。	写真オニー1
		種子保存及び 播種・育苗	5月21日に播種個体の育苗状況確認。 1)平成27年7月15日播種個体の育苗状況確認 生存している1個体は樹高5.0cm、根元直径4mmで出葉した。 2)平成28年7月6日播種個体の育苗状況確認 発芽は見られない。 3)平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認 No. ①は枯死。No. ②及びNo. ③は芽生えの高さ1cm、根元直径1mm。床蒔きに発芽は見られない。 4)平成28年3月30日挿し木個体の育苗状況確認（発根促進剤使用） 挿し木10本は全て枯死。 5)平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認（発根促進剤使用） 挿し木20本の内、2本が生育（樹高21.0cm、根元直径3mm。樹高16.5cm、根元直径3mm） 6)平成30年3月8日挿し木個体の育苗状況確認（発根促進剤使用） 挿し木20本の内、10本で出葉した。	写真オニー 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
			6月5日に播種個体の育苗状況確認。 1)平成27年7月15日播種個体の育苗状況確認 生存している1個体は樹高6.5cm、根元直径4mmで展葉が進む。 2)平成28年7月6日播種個体の育苗状況確認 発芽は見られない。 3)平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認 No. ①は枯死。No. ②は芽生えの高さ1.2cm、根元直径1mm。No. ③は芽生えの高さ1cm、根元直径1mm。床蒔きに発芽は見られない。 4)平成28年3月30日挿し木個体の育苗状況確認（発根促進剤使用） 挿し木10本全て枯死。 5)平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認（発根促進剤使用） 挿し木20本の内、2本が生育（樹高21.0cm、根元直径3mm。樹高19.5cm、根元直径3mm）。その内1本の挿し木に種子1個結実。 6)平成30年3月8日挿し木個体の育苗状況確認（発根促進剤使用） 挿し木20本の内、9本で展葉進む。 7)種子の採取 播種用の果実の採取を行った。	写真オニー 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16
			6月19日に播種。 6月5日に採取した種子の内、未成熟の種子を除いた20粒をプランターへ播種した。	写真オニー17
	ギンラン	移植先の個体の 森林整備	5月16日に移植先における個体の生育確認。 平成25年度生育確認場所と平成27年度及び平成28年度の移植場所ではギンランは確認できなかったが、昨年度にギンランを確認した周辺の林内で未開花のキンラン属1個体を確認した。（5月24日にギンランと確認）	写真ギンー1
			5月24日に移植先における個体の生育確認と周辺環境整備。 1)移植先における個体の生育確認 平成25年度生育確認場所と平成27年度及び平成28年度の移植場所ではギンランは確認できなかったが、昨年度にギンランを確認した周辺の林内では4個体の開花したギンランと未開花のキンラン属1個体を確認した。 2)移植先の周辺環境整備 移植先に近接したカラマツの倒木をチェーンソーによる切断と片付けを行い、周辺の林内でビーバーによる低木や草本の刈り込みを行った。	写真ギンー2, 3, 4

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
動物	ベニモンマダラ	幼虫、 生息 成虫等 確認	6月5日に生息基盤移殖先（平尾用水法面）における幼虫の生息確認。 調査の結果、生息基盤移殖先で3個体、対岸の平尾用水右岸側で1個体の幼虫を確認した。これによりベニモンマダラに対する保全措置の効果が立証された。	写真ベニー1
		生息 移殖 基盤	6月5日に播種及び移植後のクサフジの生育状況の確認。 平成29年11月17日に播種したポットの生育状況の確認を行った。4ポットから計5個体が発芽した。	写真ベニー2
	クリイロベッコウ	移殖先 個体 の 確認	6月21日に移殖先における個体の生息の確認。 クリイロベッコウの生息確認調査を実施。調査の結果、クリイロベッコウと思われる個体も含めて、対象事業実施区域南東側の移殖先（地点③）で26個体、対象事業実施区域北東側の移殖先（地点④）で14個体の陸産貝類を確認した。現在は種の同定中である。	写真クリー1, 2, 3
	希少猛禽類	モニタリング調査の実施	5月10日に定点観察。 定点観察によりオオタカ1例、サシバ1例、ノスリ9例を確認。注目行動としてはオオタカによるハンティングの試み、ノスリによる探餌と林内消失を確認した。	写真モウー1
			5月11日に定点観察。 定点観察によりハチクマ2例、ノスリ8例、クマタカ1例、チョウゲンボウ1例を確認。注目行動としてはノスリによる波状飛翔（ディスプレイ飛翔）を確認した。 2) ビデオ無人撮影 ノスリ面替ペアの巣(N1)で巣上に長期滞在する雌と思われる成鳥を確認した。今年も繁殖しているものと考えられる。	写真モウー2, 3
			6月19日に定点観察。 1) 定点観察によりハチクマ3例、オオタカ1例、ノスリ15例、チョウゲンボウ1例を確認。注目行動としてはハチクマによる餌運搬と思われる行動、オオタカによる探餌とハンティングの試み、ノスリによる餌運搬や林内消失、探餌、ディスプレイ飛翔を確認した。なお、ノスリについては対象事業実施区域の南方向（動物調査地域外）に集中的に出現し、餌運搬も確認されたことから新たな巣があると考えられた。また、舟ヶ沢の東側の谷でも餌運搬を確認したため、営巣している可能性が高い。ノスリ以外の種については事業に影響のない場所で繁殖しているものと思われる。 定点観察終了後に繁殖確認を行い、ノスリ面替ペアの巣(N1)で幼鳥1個体、巣(N2)で幼鳥2個体を確認した。 2) ビデオ無人撮影 巣(N4)で巣立った幼鳥2個体を確認した。	写真モウー4, 5, 6
			6月22日に定点観察。 定点観察によりハチクマ1例、ノスリ12例、クマタカ2例、ハヤブサ6例を確認。注目行動としてはハチクマによるディスプレイ飛翔、ノスリによる餌運搬や林内消失、他種への攻撃、ディスプレイ飛翔、探餌を確認した他、ハヤブサによるハンティング（成否不明）を確認した。なお、定点観察終了後にノスリが集中的に出現して繁殖行動が確認された対象事業実施区域の南方向（動物調査地域外）を確認したところ、新たなノスリの営巣木（巣番号N11）を発見し、巣上に幼鳥2個体を確認した。 6月の調査により、対象事業実施区域周辺でノスリの繁殖を4例（N1、N2、N4、N11）確認し、舟ヶ沢の東側の谷でも繁殖していると考えられる。	写真モウー7

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-1
	撮影日	H30.4.10
	平成27年4月18日移植個体の 状況確認(樹木活力度調査)  移植木の全景 平成30年2月28日のキノコ除 去による枝切断により樹高、枝 張りが小さい。胸高直径も胴 巻き除去で値が小さい。なお、 樹勢に大きな減衰は見られな い。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-2
	撮影日	H30.5.16
	平成27年4月18日移植個体の 状況確認(樹木活力度調査)  移植木の全景 十分に展葉して葉の密度も 多い。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-3
	撮影日	H30.6.5
	平成27年4月18日移植個体の 状況確認(樹木活力度調査)  十分に展葉して葉の密度も 多いが、一部の小枝の葉が枯 れている。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-4
	撮影日	H30.4.10
	平成27年4月23日播種個体の 幼木移植(植樹) (写真はNo.⑤)  No.③ 出葉はまだ見られない。 No.⑤ 出葉始まる。 No.⑦ 出葉はまだ見られない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-5
	撮影日	H30.4.10
	平成27年4月23日播種個体の 育苗 No.①樹高17.5cm、根元直径 4mm。まだ出葉していない。 No.②枯死 No.④樹高22cm、根元直径 4mm冬季に傾いたため樹高 が低くなっている (24cm→22cm)。まだ出葉して いない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-6
	撮影日	H30.4.10
	平成28年4月18日播種個体の 育苗  No.①(左) 樹高12.0cm、根元直径4mm 出葉始まる。 No.②(右) 樹高12.0cm、根元直径3mm まだ出葉していない。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-7
撮影日	H30.4.10

播種  
移植した成木から平成30年2月26日に採取した種子をプランターへ播種し、床蒔きも行った。



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-8
撮影日	H30.5.16

平成27年4月23日播種個体の幼木移植(植樹)  
No.③  
樹高22.8cm、根元直径4mm  
出葉。



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-9
撮影日	H30.5.16

平成27年4月23日播種個体の幼木移植(植樹)  
No.⑤  
樹高28.9cm、根元直径6mm  
出葉。

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-10
	撮影日	H30.5.16
	平成27年4月23日播種個体の 幼木移植(植樹)  No.⑦ 樹高53.8cm、株立ち(根元直 径7mm、4mm、6mm) 十分に出葉。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-11
	撮影日	H30.5.21
	平成27年4月23日播種個体の 育苗 左から No.①樹高13.2cm、根元直径 5mm。先端折れ。枯死した可 能性がある。 No.②枯死 No.④樹高23.5cm、根元直径 4mm。出葉。 No ⑥枯死	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-12
	撮影日	H30.5.21
	平成28年4月18日播種個体の 育苗  No.①(左) 樹高13.5cm、根元直径4mm 出葉。 No.②(右) 樹高9.0cm、根元直径 3mm 出葉なし。枯死し た可能性がある。	








保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-13
撮影日	H30.5.21
平成29年4月21日播種個体の育苗	
プランターからポットへ植え替え。 樹高9.0cm、根元直径3mm 出葉。展葉進む。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-14
撮影日	H30.5.21
平成30年4月10日播種個体の育苗(プランター)	
ヤエガワカンバの可能性のある発芽(双葉)を150前後確認。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-15
撮影日	H30.5.21
平成30年4月10日播種個体の育苗(床蒔き)	
発芽は確認できない。	

	保全対象種	ヤエガワカンバ
	写真番号	ヤエ-16
	撮影日	H30.6.5
	平成27年4月23日播種個体の幼木移植(植樹) No.③生育確認及び管理 樹高20.0cm、根元直径4mm 枝の先端が枯れた。	
	保全対象種	ヤエガワカンバ
	写真番号	ヤエ-17
	撮影日	H30.6.5
	平成27年4月23日播種個体の幼木移植(植樹) No.⑤生育確認及び管理 樹高28.9cm、根元直径6mm 5月16日にアブラムシの発生を確認して駆除したが、一部の葉が枯れた。	
	保全対象種	ヤエガワカンバ
	写真番号	ヤエ-18
	撮影日	H30.6.5
	平成27年4月23日播種個体の幼木移植(植樹) No.⑦生育確認及び管理 樹高53.8cm、株立ち(根元直径7mm、4mm、6mm) 一部の葉に虫食いが見られる。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-19
	撮影日	H30.6.5
	平成27年4月23日播種個体の 育苗  左から No.①枯死 No.②枯死 No.④樹高24.5cm、根元直径 5mm。展葉。 No.⑥枯死	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-20
	撮影日	H30.6.5
	平成28年4月18日播種個体の 育苗  No.①(左) 樹高17.5cm、根元直径5mm 展葉。 No.②(右) 枯死	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-21
	撮影日	H30.6.5
	平成29年4月21日播種個体の 育苗  プランターからポットへ植え替 え。 樹高12.0cm、根元直径4mm 展葉。	



保 全 対象種	ヤエガワカンバ
写 真 番 号	ヤエ-22
撮影日	H30.6.5
平成30年4月10日播種個体の 育苗	
ヤエガワカンバの可能性のある 発芽(双葉)を200以上確 認。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-1
	撮影日	H30.5.16
	平成27年4月20日移植個体の 状況確認(樹木活力度調査)  全ての個体で順調に展葉し、 結実している。 (写真はNo.①個体)	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-2
	撮影日	H30.5.21
	平成27年7月15日播種個体の 育苗状況確認  No.①(左) 樹高5.0cm、根元直径4mm 出葉 No.②(右) 枯死	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-3
	撮影日	H30.5.21
	平成28年7月6日播種個体の 育苗状況確認  発芽は見られない。	

	<table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>オニヒョウタンボク</td> </tr> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>オニ-4</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>H30.5.21</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成29年6月29日播種個体の 育苗状況確認(ポット)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">No.①(左) 枯死</td> </tr> <tr> <td colspan="2">No.②(中) 芽生え 高さ1cm、 根元直径1mm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">No.③(右) 芽生え 高さ1cm、 根元直径1mm</td> </tr> </table>	保 全 対象種	オニヒョウタンボク	写 真 番 号	オニ-4	撮影日	H30.5.21	平成29年6月29日播種個体の 育苗状況確認(ポット)		No.①(左) 枯死		No.②(中) 芽生え 高さ1cm、 根元直径1mm		No.③(右) 芽生え 高さ1cm、 根元直径1mm	
保 全 対象種	オニヒョウタンボク														
写 真 番 号	オニ-4														
撮影日	H30.5.21														
平成29年6月29日播種個体の 育苗状況確認(ポット)															
No.①(左) 枯死															
No.②(中) 芽生え 高さ1cm、 根元直径1mm															
No.③(右) 芽生え 高さ1cm、 根元直径1mm															
	<table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>オニヒョウタンボク</td> </tr> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>オニ-5</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>H30.5.21</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成29年6月29日播種個体の 育苗状況確認(床蒔き)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">発芽は見られない。</td> </tr> </table>	保 全 対象種	オニヒョウタンボク	写 真 番 号	オニ-5	撮影日	H30.5.21	平成29年6月29日播種個体の 育苗状況確認(床蒔き)		発芽は見られない。					
保 全 対象種	オニヒョウタンボク														
写 真 番 号	オニ-5														
撮影日	H30.5.21														
平成29年6月29日播種個体の 育苗状況確認(床蒔き)															
発芽は見られない。															
	<table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>オニヒョウタンボク</td> </tr> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>オニ-6</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>H30.5.21</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成28年3月30日挿し木個体の 育苗状況確認(発根促進剤 使用)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">挿し木10本はすべて枯死し た。</td> </tr> </table>	保 全 対象種	オニヒョウタンボク	写 真 番 号	オニ-6	撮影日	H30.5.21	平成28年3月30日挿し木個体の 育苗状況確認(発根促進剤 使用)		挿し木10本はすべて枯死し た。					
保 全 対象種	オニヒョウタンボク														
写 真 番 号	オニ-6														
撮影日	H30.5.21														
平成28年3月30日挿し木個体の 育苗状況確認(発根促進剤 使用)															
挿し木10本はすべて枯死し た。															

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-7
	撮影日	H30.5.21
	平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  挿し木20本の内、2本が生育 (樹高21.0cm、根元直径3mm。 樹高16.5cm、胸高直径3mm)	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-8
	撮影日	H30.5.21
	平成30年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  挿し木20本の内、10本で出葉。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-9
	撮影日	H30.6.5
	平成27年7月15日播種個体の育苗状況確認  No.①(左) 樹高6.5cm、根元直径4mm 展葉進む。 No.②(右) 枯死	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-10
	撮影日	H30.6.5
	平成28年7月6日播種個体の 育苗状況確認  発芽は見られない。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-11
	撮影日	H30.6.5
	平成29年6月29日播種個体の 育苗状況確認(ポット)  No.①(左) 枯死 No.②(中) 芽生え 高さ1.2cm、 根元直径1mm No.③(右) 芽生え 高さ1cm、 根元直径1mm	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-12
	撮影日	H30.6.5
	平成29年6月29日播種個体の 育苗状況確認(床蒔き)  発芽は見られない。	





保全対象種	オニヒョウタンボク
写真番号	オニ-13
撮影日	H30.6.5
平成28年3月30日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)	
挿し木10本はすべて枯死した。	



保全対象種	オニヒョウタンボク
写真番号	オニ-14
撮影日	H30.6.5
平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)	
挿し木20本の内、2本が生育(樹高21.0cm、根元直径3mm。樹高19.5cm、胸高直径3mm)中央の挿し木に種子1個結実	



保全対象種	オニヒョウタンボク
写真番号	オニ-15
撮影日	H30.6.5
平成30年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)	
挿し木20本の内、9本で展葉進む。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-16
	撮影日	H30.6.5
播種用の果実採取		
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-17
	撮影日	H30.6.19
未成熟の種子を除いた20粒を播種した。		

	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-1
	撮影日	H30.5.16
<p>生育個体の確認</p> <p>昨年度にギンランを確認した周辺の林内でギンランと思われる未開花の個体を1個体確認した(5月24日にギンランと確認)。</p>		
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-2
	撮影日	H30.5.24
<p>生育個体の確認</p> <p>平成25年度確認場所及び平成27年度移植場所並びに平成28年度移植場所ではギンランを確認できなかったが、周辺の林内で4個体のギンランと未開花のキンラン属1個体を確認した。</p>		
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-3
	撮影日	H30.5.24
<p>移植先の森林整備</p> <p>移植先に近接したカラマツの倒木の除去作業(チェーンソーによる切断と片付け)</p>		



保全対象種	ギンラン
写真番号	ギン-4
撮影日	H30.5.24
移植先の森林整備 林床の低木や草本の刈り込み作業(ビーパーによる作業)	



保全対象種	ベニモンマダラ
写真番号	ベニ-1
撮影日	H30.6.5
生息基盤移殖先(平尾用水法面)における幼虫 (写真は3個体目)	



保全対象種	ベニモンマダラ
写真番号	ベニ-2
撮影日	H30.6.5
播種及び移植後のクサフジの 生育状況の確認	
平成29年11月17日に播種した ポットの生育状況	
4ポットから計5個体が発芽した。	



保全対象種	クリロベッコウ
写真番号	クリ-1
撮影日	H30.6.21
<p>クリロベッコウ移殖先における個体の生息確認</p> <p>対象事業実施区域の北東側の移殖先(地点④)における調査</p>	



保全対象種	クリロベッコウ
写真番号	クリ-2
撮影日	H30.6.21
<p>クリロベッコウ移殖先における個体の生息確認</p> <p>対象事業実施区域の南東側の移殖先(地点③)で採取した陸産貝類(現在、種の同定中)。</p>	

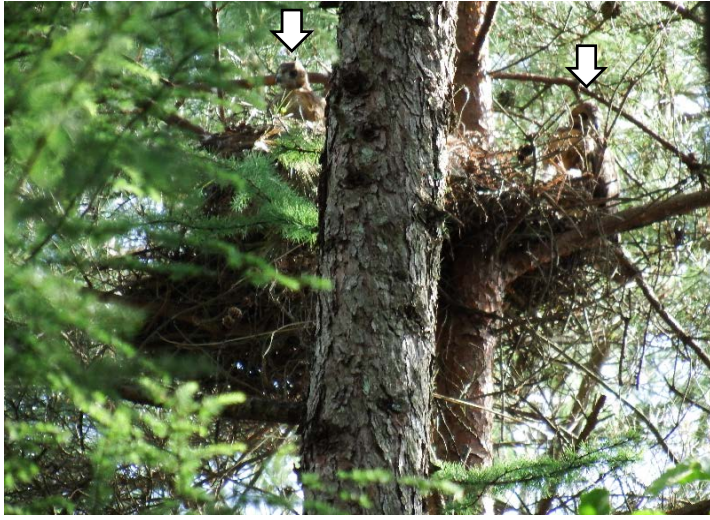


保全対象種	クリロベッコウ
写真番号	クリ-3
撮影日	H30.6.21
<p>クリロベッコウ移殖先における個体の生息確認</p> <p>対象事業実施区域の北東側の移殖先(地点④)で採取した陸産貝類(現在、種の同定中)。</p>	

	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-1
	撮影日	H30.5.10
	<b>定点観察実施状況</b> 主対象: ハチクマ、ハイタカ、ノスリ 定点17(対象事業実施区域を広く観察するために新設)	
	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-2
	撮影日	H30.5.11
	<b>ノスリ面替ペアの雄</b>	
	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-3
	撮影日	H30.5.11
	<b>ビデオ無人撮影</b> ノスリ面替ペアの巣(N1)に滞在するメスと思われる成鳥	

	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-4
	撮影日	H30.6.19
	確認種:ノスリ幼鳥1個体 面替ペアの巣(N1)内に幼鳥1 個体を確認。	
	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-5
	撮影日	H30.6.19
	確認種:ノスリ幼鳥2個体 N2の巣内に幼鳥2個体を確認。	
	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-6
	撮影日	H30.6.19
	確認種:ノスリ幼鳥2個体 ビデオ無人撮影によりN4の巣 で巣立った幼鳥2個体を確認。	








保全対象種	希少猛禽類
写真番号	モウ-7
撮影日	H30.6.22
確認種:ノスリ幼鳥2個体 新たなノスリの巣(N11)と巣上の幼鳥2個体。	

平成30年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務  
対象種【ヤエガワカンバ】




環境保全措置および事後調査の経過一覧表

対象期間【平成30年4月～平成30年11月】




【措置項目】成木の移植

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
<p>【事後調査】 平成27年4月18日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。</p>   	<p>2018年2月28日のキノコ除去の枝切断により昨年より樹高、枝張りが小さく、胸高直径も胴巻き除去により小さい。なお、樹勢に大きな減衰は見られない。出葉は始まっていない。</p> <p>撮影日：4月10日</p>	<p>十分に展葉して葉の密度も多い。キノコ発生部位除去後の枝先端部分の小枝や葉に異常は見られない。</p> <p>撮影日：5月16日</p>	<p>十分に展葉して葉の密度も多い。一部の枝の葉が枯れている(キノコ発生部位除去後の枝とは別の小枝)。</p> <p>撮影日：6月5日</p>								

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
<p>【事後調査】 平成27年4月23日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。</p>   	<p>左からNo.①、②、④、⑥。No.②と⑥は枯死。No.①と④は樹高17.5～22cm、根元直径4mmでまだ出葉していない。</p> <p>撮影日：4月10日</p>	<p>左からNo.①、②、④、⑥。No.②と⑥は枯死。No.①は先端が折れ、枯死した可能性あり。No.④は樹高23.5cm、根元直径4mmで出葉。</p> <p>撮影日：5月21日</p>	<p>左からNo.①、②、④、⑥。No.①と②と⑥は枯死。No.④は樹高24.5cm、根元直径5mmで展葉。</p> <p>撮影日：6月5日</p>								

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗




環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
<p>【事後調査】 平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。</p>   	<p>No.③ 樹高21cm、根元直径4mm まだ出葉していない。</p> <p>撮影日：4月10日</p>	<p>No.③ 樹高22.8cm、根元直径4mm 出葉。</p> <p>撮影日：5月16日</p>	<p>No.③ 樹高20.0cm、根元直径4mm 枝の先端が折れた。</p> <p>撮影日：6月5日</p>								

平成30年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務  
対象種【ヤエガワカンバ】




環境保全措置および事後調査の経過一覧表

対象期間【平成30年4月～平成30年11月】




【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
【事後調査】 平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	No.⑤ 樹高27cm、根元直径6mm 出葉始まる。	No.⑤ 樹高28.9cm、根元直径6mm 出葉。一部の葉にアブラムシの発生を確認し駆除した。	No.⑤ 樹高28.9cm、根元直径6mm 5月16日にアブラムシの発生を確認して駆除したが、一部の葉が枯れた。								
	撮影日：4月10日	撮影日：5月16日	撮影日：6月5日								

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
【事後調査】 平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	No.⑦ 樹高52.5cm、株立ち(根元直径7mm、4mm、6mm) まだ出葉していない。	No.⑦ 樹高53.8cm、株立ち(根元直径7mm、4mm、6mm) 十分に葉。	No.⑦ 樹高53.8cm、株立ち(根元直径7mm、4mm、6mm) 一部の葉に虫食いが見られる。								
	撮影日：4月10日	撮影日：5月16日	撮影日：6月5日								

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗




環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
【事後調査】 平成28年4月18日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	No.①(左)樹高12.0cm、根元直径4mmで出葉始まる。 No.②(右)樹高12.0cm、根元直径3mmでまだ出葉していない。	No.①(左)樹高13.5cm、根元直径4mmで出葉。 No.②(右)出葉なし。枯死した可能性あり。	No.①(左)樹高17.5cm、根元直径5mmで展葉。 No.②(右)枯死。								
	撮影日：4月10日	撮影日：5月21日	撮影日：6月5日								

平成30年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務  
対象種【ヤエガワカンバ】




環境保全措置および事後調査の経過一覧表

対象期間【平成30年4月～平成30年11月】




【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
【事後調査】 平成29年4月21日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	プランターからポットへ植え替えを行う。 樹高9.0cm、根元直径3mmで出葉始まる。	樹高9.0cm、根元直径3mmで出葉。展葉進む。	樹高12.0cm、根元直径4mmで展葉。								
	撮影日:4月10日	撮影日:5月21日	撮影日:6月5日								

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
【事後調査】 平成30年4月10日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	移植した成木から平成30年2月26日に種子を採取し、プランターへ播種した。	ヤエガワカンバの可能性のある発芽(双葉)を150前後確認。	ヤエガワカンバの可能性のある発芽(双葉)を200以上確認。								
	撮影日:4月10日	撮影日:5月21日	撮影日:6月5日								

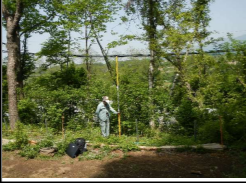
【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
【事後調査】 平成30年4月10日に床蒔きし、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	移植した成木から平成30年2月26日に種子を採取し、床蒔きした。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。								
	撮影日:4月10日	撮影日:5月21日	撮影日:6月5日								



平成30年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表  
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【平成30年5月～平成30年11月】



【措置項目】成木の移植 ※成木の生育状況が順調であることからモニタリングは平成30年5月と9月に実施。

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
【事後調査】 平成27年4月20日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		全ての個体で順調に展葉して結実している。									
		撮影日:5月16日									

【措置項目】個体の生育確認及び管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
【事後調査】 平成27年7月15日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		No.①(左)樹高5.0m、根元直径4mmで出葉 No.②(右)枯死	No.①(左)樹高6.5m、根元直径4mmで展葉進む No.②(右)枯死								
		撮影日:5月21日	撮影日:6月5日								



【措置項目】個体の生育確認及び管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
【事後調査】 平成28年7月6日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		発芽は確認できない。	発芽は確認できない。								
		撮影日:5月21日	撮影日:6月5日								


平成30年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表  
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【平成30年5月～平成30年11月】



【措置項目】個体の生育確認及び管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
【事後調査】 平成29年6月29日に新たに種子20個をプランターに播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		No.①(左)枯死 No.②(中)芽生え、高さ1cm、根元直径1mm No.③(右)芽生え、高さ1cm、根元直径1mm	No.①(左)枯死 No.②(中)芽生え、高さ1.2cm、根元直径1mm No.③(右)芽生え、高さ1cm、根元直径1mm								
		撮影日:5月21日	撮影日:6月5日								

【措置項目】個体の生育確認及び管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
【事後調査】 平成30年6月19日に新たに種子20個をプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
			播種の実施。								
			撮影日:6月19日								



【措置項目】個体の生育確認及び管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
【事後調査】 平成28年3月30日に10本を挿し木し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		全て枯死した。	全て枯死した。								
		撮影日:5月21日	撮影日:6月5日								



平成30年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表  
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【平成30年5月～平成30年11月】

【措置項目】個体の生育確認及び管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
【事後調査】 平成29年3月14日に20本を挿し木し(発根促進剤使用)、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		挿し木20本の内、2本が生育(樹高21.0cm、根元直径3mm。樹高16.5cm、根元直径3mm)	挿し木20本の内、2本が生育(樹高21.0cm、根元直径3mm。樹高19.5cm、根元直径3mm)中央の挿し木に種子1個結実。								
		撮影日:5月21日	撮影日:6月5日								


【措置項目】個体の生育確認及び管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
【事後調査】 平成30年3月8日に20本を挿し木(発根促進剤使用)。											
		挿し木20本の内、10本で出葉。	挿し木20本の内、9本で展葉進む。								
		撮影日:5月21日	撮影日:6月5日								

平成30年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表  
 対象種【ベニモンマダラ(クサフジ)】

対象期間【平成30年5月～平成30年7月に1回】

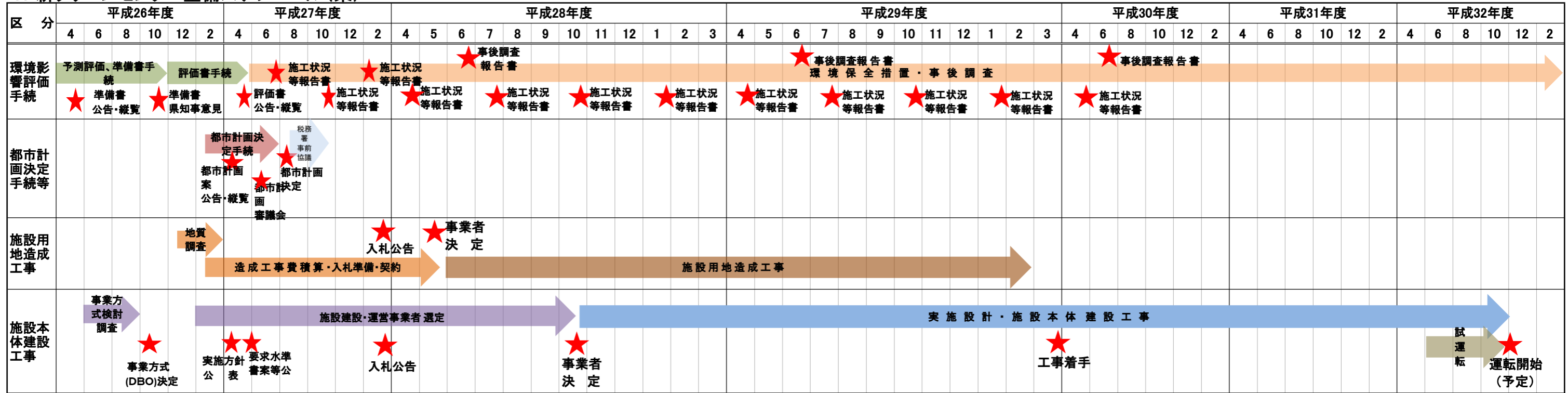
【措置項目】生息基盤の移殖

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月								
【事後調査】 平成29年11月17日にクサフジの種子を播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
			20ポットの内、4ポットから計5個体が発芽。								
			撮影日:6月5日								



# ◆施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表」

## 1. 新クリーンセンター整備スケジュール(案)



## 2. 対象事業の実施状況一覧

年 度 回 数 報告対象期	平成27年度				平成28年度			
	第1回報告 4月～6月	第2回報告 7月～9月	第3回報告 10月～12月	第4回報告 1月～3月	第5回報告 4月～6月	第6回報告 7月～9月	第7回報告 10月～12月	第8回報告 1月～3月
実施状況	現在、造成工事等については、未着手である。 【都市計画決定手続】平成27年7月8日付けで本事業に係る都市計画が決定。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得に係る税務署事前協議】平成27年8月19日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議を開始。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得関係】平成27年11月26日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議が完了。法人及び個人地権者と用地取得に係る契約を締結し、用地取得手続が概ね完了している。 【敷地造成工事】造成工事費の積算を行い、精査を実施している。	現在、造成工事等については、未着手である。 【敷地造成工事】平成28年3月14日付で入札公告、同3月30日に入札が行われた。残土運搬先について、該当する個人地権者へ説明。一部からの承を得られた。 【施設本体建設工事】平成28年3月14日付で入札公告、参加表明締切を同4月28日に予定している。	平成28年6月6日、敷地造成工事に着手した。同日付で「対象事業着手報告書」を県へ提出した。 【敷地造成工事】6月は準備工として、敷地内の伐採と測量作業を行った。 【施設本体建設工事】平成28年4月28日付で入札参加表明を締切り、同6月27日付で提案書の提出を受付けた。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】敷地の掘削を開始した。管渠工事が完了した。 【施設本体建設工事】平成28年8月9日に開札及び総合評価を実施した。同9月1日、落札者決定について公表した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】掘削が続いている。 【施設本体建設工事】平成28年10月25日建設請負契約を締結。実施設計協議を開始した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良の準備を進め、開始した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。
年 度 回 数 報告対象期	平成29年度				平成30年度			
	第9回報告 4月～6月	第10回報告 7月～9月	第11回報告 10月～12月	第12回報告 1月～3月	第13回報告 4月～6月	第15回報告 10月～12月		
実施状況	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良を終え、擁壁本体の施工に着手した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。 【植栽工事】隣接地との境界へ植樹を開始した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の一部が、最上段まで積み上がった。ブロック積工及び法面工に着手した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。 【植栽工事】隣接地との境界への植樹が完了した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁が完成し、敷地造成工事は、わずかな排水路工事を残すのみとなった。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。平成29年12月8日に建築確認の申請を行った。	建設地では、敷地造成工事が竣工し、建設工事に着手した。 【敷地造成工事】平成30年2月28日に竣工した。 【施設本体建設工事】実施設計が完了した。平成29年12月8日に行った建築確認の申請について、平成30年1月31日に手続きが完了した。公害防止関係、廃棄物の処理及び清掃に関する法律関係の届出等、監督官公庁への手続きが完了した。平成30年3月27日より山留工事に着手した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】5月より杭工事に着手した。5月末よりごみビット掘削工事に着手した。6月末より工場棟(一部)基礎根切掘削工事に着手した。 【法面保護工事】敷地法面の植生工事に着手した。			

施工状況(4月～6月)

実施月	実施状況	写真
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設工事 (現場仮囲い、事務所設置、仮設給排水工事、仮設電気工事)</li> <li>・表層地盤鋤取り、地盤改良、外周道路下層路盤整地(北側)</li> <li>・山留親杭打設</li> </ul>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山留親杭打設 (5/11完了。5/15機材搬出)</li> <li>・現場打ちコンクリート杭工事 (5/31時点 17本完了/全75本)</li> <li>・ごみピット1次掘削(GL-5,000)</li> <li>・山留矢板設置</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場打ちコンクリート杭工事 (6/30時点 48本完了/全75本)</li> <li>・ごみピット2次掘削(GL-7,500)、山留矢板設置、バックアースンカー設置、腹起し設置</li> <li>・D工区 エルニード地盤改良、根切掘削</li> </ul>	

◆施設建設工事中の施工業者による環境保全措置実施状況

調査年月日：2018年4月1日～6月30日

調査対象事項	関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類
			4月	5月	6月	
工事関係車両の走行	1 走行時間の分散 大気質、騒音、振動、 触れ合い活動の場	工事関係車両の走行が集中しないよう走行の時期・時間の分散に努める。 特に朝の通学時間帯は極力避けるように配慮する。	○	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
	2 交通規制等の遵守 大気質、騒音、振動、 触れ合い活動の場	工事関係車両は、速度や積載量等の交通規制及び指定走行ルート、標示規制等を遵守するよう指導する。	○	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
	3 アイドリングストップ・エコドライブの励行 大気質	工事関係車両のアイドリングストップ・エコドライブを徹底する。	○	○	○	写真1
	4 土砂運搬車両等のタイヤ洗浄 大気質	建設地から退出する工事関係車両等の洗車を適宜実施する。	-	-	○	写真2～4
	5 工사용車両出入り口の路面洗浄等 大気質	建設中の構内道路への散水や鉄板の敷設等を行う。	○	○	○	写真5～6
	6 土砂搬出車両荷台のシート掛け 大気質	土砂を搬出入する場合の車両荷台へのシートの敷設を行う。	-	-	○	写真7～8
	7 交通整理員の配置 触れ合い活動の場	スキー場の営業期間中については、必要に応じて交通整理員を配置するなど、出入口付近での車両の交錯を防止する。	○	○	○	写真9
	8 北パタダを利用する一般車両への配慮 触れ合い活動の場	スキー場の営業期間中については、来場者が多くなる土・日曜日の工事関係車両の走行を避けるように努める。	○	○	○	写真1
建設機械の稼働	1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型) 大気質、騒音、振動、 動物、生態系、 触れ合い活動の場	建設機械は、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型の使用や低騒音型・低振動型工法の採用に努める。	○	○	○	写真10～21 参考資料1(非公開)
	2 建設機械稼働時間の抑制 大気質	建設機械は、アイドリングストップを徹底する。	○	○	○	写真22
	3 建設機械稼働時間の分散 騒音、振動、 触れ合い活動の場	建設機械の稼働台数が集中しないよう工事の時期・時間の分散に努める。	○	○	○	写真22 参考資料1(非公開)

※実施状況欄 ○：実施 -：未実施(実施不要)

建設機械の稼働	調査対象事項	関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類
				4月	5月	6月	
土地造成、掘削、樹木の伐採	4	工事区域の仮囲い・遮音壁の設置	大気質、騒音	建設地周辺へ工事用仮囲いを設置する。 必要に応じて対象事業実施区域境界に遮音壁を設置する。	○	○	写真23～25
	5	工事区域への散水等	大気質、植物、生態系	建設中の構内道路への散水や鉄板の敷設等を行う。 散水を実施することで、乾じんの発生を防止し、周辺に生育する植物への影響を低減する。	○	○	写真26～28
	1	安全な掘削方法の検討	地形・地質	掘削工法の検討に当たっては、土地の安定性に十分に配慮する。	○	○	写真29～31
	2	計画・設計時の配慮	地形・地質	掘削計画において、安定計算の実施、マニュアル等に基づく適切な設計、浸食防止排水溝の設置等を行う。	計画時実施済み		—
	3		地形・地質		掘削工事に際し、仮排水路への排水ができるようにし、沈砂池に集水して濁水の土砂を沈殿させてから放水する。		—
	4	工事計画の配慮	触れ合い活動の場	パラダの営業期間中の工事については、事業者と十分な協議を行い、スキー客への影響が極力小さくなるよう配慮する。	○	○	参考資料1(非公開)
	5	工事区域外からの流入抑制	水質	工事区域の外周に仮設の雨水排水路を設置し、工事区域外からの雨水の流入を抑制し、濁水の発生量を低減する。	○	○	写真32
	6	造成面等からの濁水発生対策	水質	台風、集中豪雨等が予想される場合には、造成面、仮置き残土等へのシート、土嚢による養生等の対策を講じる。	計画時実施済み		—
	7	沈砂池等の設置、維持管理	水質	十分な貯留容量を有する沈砂池を設置し、雨水を一時的に貯留し濁水の土砂を沈殿させてから放流する。	○	○	写真33～34
8	雨水排水の濁りの監視	水質	降雨時には速やかに雨水排水の濁りの状況を目視により確認し、濁りが認められた場合には濁水を沈降させ、上澄みを放流する。	○	○	写真35	
9	雨水排水の水温の監視	水質、動物	排水温度の変化に伴う動植物への影響の可能性の観点から、放流水の水温について監視する。	○	○	写真36	

※実施状況欄 ○：実施 —：未実施(実施不要)

調査対象事項	関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類
			4月	5月	6月	
土地造成、樹木の伐採、掘削、	10	揚水量を低減する掘削工法等の検討	揚水量を低減する効果的な掘削工法等を検討する。	計画時実施済み		—
	11	止水壁等の設置による水位低下の防止	止水壁を透水性の低い層まで設置する等により地下水水位低下の防止を図る。	計画時実施済み		—
	12	対象事業実施区域境界の林縁保護	対象事業実施区域境界に適宜防風ネットや遮光ネット等を設置することで、樹木の保全を図る。	○	○	写真37～39
	13	対象事業実施区域周辺で営業が確認された場合の工期変更等	対象事業実施区域の近隣で希少猛禽類の営業が確認された場合には、工事時期や手順、監視等について検討を行う。	—	—	—
	14	工事関係者への啓発(動植物等)	工事関係者及び作業員に対して、対象事業実施区域外への不意な立ち入りや工事用車両の空ぶかしや急発進等による騒音の発生の抑制などの指導を行う。	○	○	写真22 参考資料1(非公開)
舗装工事・コンクリート工事	1	中和処理	アルカリ排水について、環境基準内(pH8.5以下)に中和処理を行った後排水する。	○	○	写真40～42
	2	水素イオン濃度の監視	コンクリート工事に伴うアルカリ排水について、pH計を用いてpHの監視を行う。	○	○	写真43～44
発生土、建設発生土、伐採木、廃棄物、	1	建設発生土の再利用	掘削土砂については本事業の敷地内や他事業での再利用に努め、残土の発生を抑制する。	—	○	参考資料2(非公開)
	2	公共事業等での有効利用	場外搬出する残土については、他の公共事業での有効活用を図り、処分量の低減を図る(受け入れ先は組合で決定)。	—	○	参考資料2(非公開)
	3	アスファルト・コンクリート塊、木くず、伐採木等の再生利用	再生利用の促進を図るため、アスファルト・コンクリート塊、木くず・伐採木等は可能な限り資源として再生利用する。	—	○	参考資料2(非公開)
	4	現場での分別排出	発生した廃棄物については、可能な限り現場で分別を行い排出する。	○	○	写真45～46
	5	適正な管理(土壌)	自然由来により残土が汚染されている場合もあることから、処分方法に応じた適切な搬出土の管理を行う。	計画時実施済み		—

※実施状況欄 ○:実施 —:未実施(実施不要)



写真1

工事関係車両の走行  
 No.1  
 走行時間の分散  
 No.2  
 交通規制等の遵守  
 No.3  
 アイドリングストップ・エコドライブの励行  
 No.8  
 北パラダを利用する  
 一般車両への配慮

撮影日 2018/6/1



写真2

工事関係車両の走行  
 No.4  
 土砂運搬車両等の  
 タイヤ洗浄

撮影日 2018/6/20



写真3

工事関係車両の走行  
 No.4  
 土砂運搬車両等の  
 タイヤ洗浄

撮影日 2018/6/20



写真4

工事関係車両の走行  
No.4  
土砂運搬車両等の  
タイヤ洗浄

撮影日 2018/6/20



写真5

工事関係車両の走行  
No.5  
工事用車両出入り口の  
路面洗浄等

撮影日 2018/6/12



写真6

工事関係車両の走行  
No.5  
工事用車両出入り口の  
路面洗浄等

撮影日 2018/6/12



写真7

工事関係車両の走行  
No.6  
土砂搬出車両荷台  
のシート掛け

撮影日 2018/6/21



写真8

工事関係車両の走行  
No.6  
土砂搬出車両荷台  
のシート掛け

撮影日 2018/6/21



写真9

工事関係車両の走行  
No.7  
交通整理員の配置

撮影日 2018/4/6



	<p style="text-align: center;">写真10</p> <hr/> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、 低騒音型、低振動型) 車両系建設機械 日立 0.7m<sup>3</sup>バックホー</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/6/21</p>
	<p style="text-align: center;">写真11</p> <hr/> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、 低騒音型、低振動型) 車両系建設機械 日立 0.7m<sup>3</sup>バックホー</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/6/21</p>
	<p style="text-align: center;">写真12</p> <hr/> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、 低騒音型、低振動型) 車両系建設機械 コマツ 0.4m<sup>3</sup>バックホー</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/6/18</p>

	<p style="text-align: center;">写真13</p> <hr/> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、 低騒音型、低振動型) 車両系建設機械 コマツ 0.4m<sup>3</sup>バックホー</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/6/18</p>
	<p style="text-align: center;">写真14</p> <hr/> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、 低騒音型、低振動型) 車両系建設機械 コベルコ 0.25m<sup>3</sup>バックホー</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/6/1</p>
	<p style="text-align: center;">写真15</p> <hr/> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、 低騒音型、低振動型) 車両系建設機械 コベルコ 0.25m<sup>3</sup>バックホー</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/6/1</p>

	<p style="text-align: center;">写真16</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、 低騒音型、低振動型) 車両系建設機械 コベルコ 0.7m<sup>3</sup>ブレーカー</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/6/26</p>
	<p style="text-align: center;">写真17</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、 低騒音型、低振動型) 車両系建設機械 コベルコ 0.7m<sup>3</sup>ブレーカー</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/6/26</p>
	<p style="text-align: center;">写真18</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、 低騒音型、低振動型) 車両系建設機械 コマツ 0.7m<sup>3</sup>バックホー</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/6/26</p>

	<p style="text-align: center;">写真19</p> <hr/> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、 低騒音型、低振動型) 車両系建設機械 コマツ 0.7m<sup>3</sup>バックホー</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/6/26</p>
	<p style="text-align: center;">写真20</p> <hr/> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、 低騒音型、低振動型) 車両系建設機械 マエダ 4.9t吊りクレーン</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/6/26</p>
	<p style="text-align: center;">写真21</p> <hr/> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、 低騒音型、低振動型) 車両系建設機械 マエダ 4.9t吊りクレーン</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/6/26</p>




	<p style="text-align: center;">写真22</p> <p>建設機械の稼働 No.2 建設機械稼働時間の抑制 No.3 建設機械稼働時間の分散</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.14 工事関係者への啓発 (動植物等)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/6/1</p>
	<p style="text-align: center;">写真23</p> <p>建設機械の稼働 No.4 工事区域の仮囲い・ 遮音壁の設置</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/4/6</p>
	<p style="text-align: center;">写真24</p> <p>建設機械の稼働 No.4 工事区域の仮囲い・ 遮音壁の設置</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/4/6</p>



写真25

建設機械の稼働

No.4

工事区域の仮囲い・  
遮音壁の設置

撮影日 2018/4/6



写真26

建設機械の稼働

No.5

工事区域への散水等

撮影日 2018/6/12



写真27

建設機械の稼働

No.5

工事区域への散水等

撮影日 2018/6/12



写真28

建設機械の稼働  
No.5  
工事区域への散水等

撮影日 2018/6/12



写真29

土地造成、掘削、樹木の伐採  
No.1  
安全な掘削方法の検討  
  
親杭横矢板施工状況

撮影日 2018/6/15



写真30

土地造成、掘削、樹木の伐採  
No.1  
安全な掘削方法の検討  
  
親杭横矢板施工状況

撮影日 2018/6/15



写真31

土地造成、掘削、樹木の伐採  
No.1

安全な掘削方法の検討

親杭横矢板施工状況

撮影日 2018/6/15



写真32

土地造成、掘削、樹木の伐採  
No.5

工事区域外からの流入抑制

撮影日 2018/4/24



写真33

土地造成、掘削、樹木の伐採  
No.7

沈砂池等の設置、維持管理

撮影日 2018/4/24





写真34

土地造成、掘削、樹木の伐採  
No.7  
沈砂池等の設置、維持管理

撮影日 2018/4/24



写真35

土地造成、掘削、樹木の伐採  
No.8  
雨水排水の濁りの監視

撮影日 2018/4/24

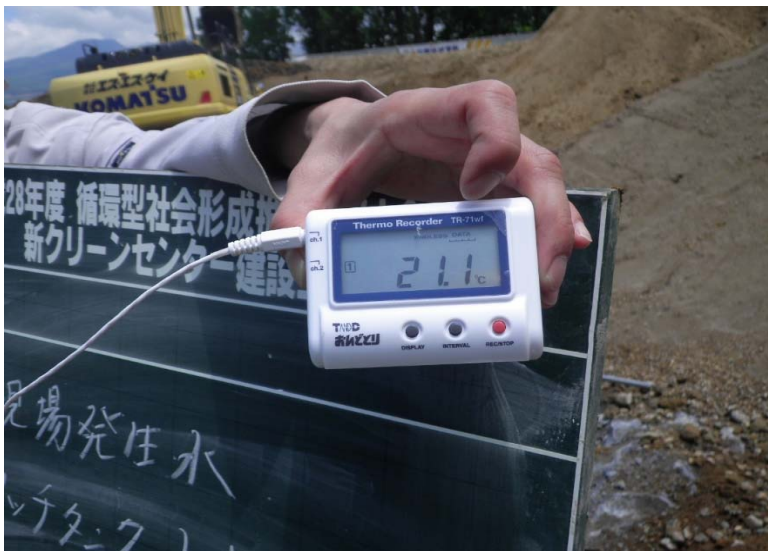


写真36

土地造成、掘削、樹木の伐採  
No.9  
雨水排水の水温の監視  
21.1°C

撮影日 2018/5/25

	<p style="text-align: center;">写真37</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.12 対象事業実施区域境界 の林縁保護</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/4/24</p>
	<p style="text-align: center;">写真38</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.12 対象事業実施区域境界 の林縁保護</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/4/6</p>
	<p style="text-align: center;">写真39</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.12 対象事業実施区域境界 の林縁保護</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2018/4/6</p>



写真40

舗装工事・コンクリート工事  
No.1  
中和処理  
中和剤の準備

撮影日 2018/4/6



写真41

舗装工事・コンクリート工事  
No.1  
中和処理  
中和剤の準備

撮影日 2018/4/24



写真42

舗装工事・コンクリート工事  
No.1  
中和処理  
中和剤の準備

撮影日 2018/4/24



写真43

舗装工事・コンクリート工事  
No.2  
水素イオン濃度の監視  
現場発生水PH測定  
PH7  
LOTNo.70929024

撮影日 2018/5/25



写真44

舗装工事・コンクリート工事  
No.2  
水素イオン濃度の監視  
PH7  
LOTNo.70929024

撮影日 2018/5/25



写真45

発生土、建設廃棄物、伐採木  
No.4  
現場での分別排出

撮影日 2018/4/24



写真46

発生土、建設廃棄物、伐採木  
No.4  
現場での分別排出

撮影日 2018/4/24